

地域と一体で鉄道の活性化に取り組んでいる例(観光を切り口とした事例)

若桜鉄道の例

①ローカル列車の旅企画

- 若桜駅に保存されている転車台の説明と乗車券をセットにした企画切符を発売。県内外から多くの観光客が来訪。



ホットな歓迎も好評

日本海新聞(H19.7.11)記事より

②車両体験運転

- 若桜鉄道の会社発足20年記念イベントとして、若桜駅構内の線路を運転する体験企画



出典:若桜鉄道ホームページより

③登録有形文化財への申請

- 六つの木造駅舎のほか、蒸気機関車の向きを変えるのに用いられた転車台、ポイント切り替え要員が詰めた小屋、木造の待合所付きホーム等の路線施設を全国ではじめて申請。平成20年7月8日文化財登録。



若桜駅



若桜駅構内転車台



安部駅



SL保存活動の様子

出典:「若桜鉄道に係わる費用対効果分析に関する調査」、「第1回若桜谷の公共交通を考える協議会」資料、「若桜鉄道」、「若桜駅SL保存会」ホームページをもとに作成



沿線の景観や古き佳きものをゆっくり味わってもらうとともに、鉄道が自らの魅力を訴えて観光資源となる